



ふ れ あ い
市 長 室



南あわじ市長 守本 憲弘

引き続き新型コロナウイルス感染予防を

新型コロナウイルス感染症については、都市部を中心とした第2波と呼ばれる感染者の増加が、少し落ち着いた兆しを見せているものの、洲本健康福祉事務所管内においても、新たな感染事例が報告されています。市民の皆さまにおかれましては、手洗い、うがい、手指の消毒、マスクの着用や3密を避けるなど、引き続き感染予防を徹底していただきますようお願いいたします。さらに、これからはインフルエンザの流行が心配される時節です。新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行はぜひとも回避しなければなりません。市では、高齢者のインフルエンザ予防接種に必要な費用の一部助成を10月1日から開始しますので、発症や重症化を防ぐためにもできるだけ予防接種を受けていただくようお願いいたします。なお、今月号広報の2、3頁に詳細を掲載していますので、ぜひご覧ください。

さて、市内21カ所に設置している市民交流センターでは、地域づくり協議会の事務局をはじめ、地域活性化のお手伝いを中心に、市役所業務の補完として証明発行の取り次ぎや書類のあずかりサービスを行っています。市では、市役所

に行かなくても最寄りの市民交流センターで手続きや相談ができる「どこでも市役所プロジェクト」の取り組みを進めており、それについて触れさせていただきます。一つ目は、簡易な申請書類作成の市民交流センターでのサポートです。作成した書類はそのままおあずかりして市役所へ提出することができます。二つ目は、出張相談窓口の市民交流センター（地区公民館内）での順次開設です。毎月、高齢者等の出張相談を在宅介護支援センターが複数個所で実施しており、10月は西淡志知・阿那賀・神代・阿万・福良地区で開設予定です。また、今後の行政手続きのデジタル化には必須であり、健康保険証としても利用される予定のマイナンバーカードについても出張申請窓口を順次開設しています。三つ目は、市立図書館のホームページ「蔵書検索・予約」から予約した図書等の市民交流センターでの受け取りです。さらに、郵送等で可能な手続きをできるだけ増やしていくなど、引き続き、さまざまな検討を進めてまいります。

今年度は、当初から新型コロナウイルス感染症による国の緊急事態宣言が出され、市ではスピード感を求めながら、その対策に取り組んできた半年でした。一方で「ウィズ・コロナ」と言われるとおり、新型コロナウイルスをただ恐れるだけでなく、十分な感染予防対策をとりながら共存し、生活福祉の向上や経済の活性化にも立ち止まることなく前進していかなければなりません。市民の皆さまにおかれましては、引き続き、新型コロナウイルス感染予防に努めていただきますとともに、すでにご案内させていただいております、市内の連合商店街のプレミアム付商品券事業など、経済活性化をめざす事業についてもぜひご利用くださいますようお願いいたします。

メガフロートの今後について意見交換する委員ら



メガフロートの今後のあり方
住民・関係者らが議論

福良沖にある「浮体式多目的公園（メガフロート）」の今後のあり方について話し合う検討会が、9月2日に中央公民館で開かれました。メガフロートは平成13年度に設置された浮体式海釣り公園で、年間約1万5千人の利用があります。検討会は、地域住民の代表者や漁業、観光、行政関係者ら

で構成。この日の会合では、懸念される津波による漂流のシミュレーション結果のほか、老朽化診断の結果や現在の利用状況、存廃にかかる費用、有効活用の可能性についてなど、さまざまな意見交換が行われました。検討会は計3回行われ、存廃などの意見を取りまとめる予定です。

シニア世代のニーズに応じる
「お仕事説明会」を開催



社会保険労務士の原さんによる講演会

高齢者等元気活躍推進事業の一環として、人生100年時代を充実して過ごせるようにシニア世代の労働機会を広げようと、8月21日、榎列公民館で「60歳以上の方のためのお仕事説明会2020」を開催しました。

この日は、市民ら45人が参加。社会保険労務士の原成昭さんによる講演会で、年金の改正点や、地域とつながりを持つことが生きがいとなり健康でいられるといった、シニア世代が働くことの重要性についての説明がありました。その後、「働くシニア応援プロジェクト」モデル事業者7社より、シニア世代の意欲や体力等に配慮して切り出した仕事内容の紹介がありました。

8月18日、明治安田生命保険相互会社神戸支社淡路営業所から市へ41万3200円の寄付がありました。寄付金は、同保険相互会社の取り組み「地元の元気づけプロジェクト」により、会社からの寄付と従業員から集められたものです。



明治安田生命神戸支社の瀧野瀬支社長(右)と守本市長

対策に活用いただき、まちの人に元気になってもらいたい」と話しました。

まちに元気を
明治安田生命が市へ寄付

心を癒す体験学習
八木小学校で「万華鏡づくり」



藤尾さん(左)に完成した万華鏡を見せる八木小学校の児童ら

8月27日、万華鏡コミュニティの藤尾まさよさんを講師に招き、八木小学校で万華鏡づくりを通じた人権教室を開催しました。参加した児童40人は、2人1組となり協力して万華鏡を製作。教室を通して、相手の気持ちに寄り添うこと、人と心地よくつながることの大切さを学びました。

秋学期より対面授業を実施

新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴い、本学ではオンラインでの授業を主にしてきましたが、10月1日からの秋学期は対面授業を本格化し、キャンパス内での学生生活を再開します。私たちスタッフも学生がキャンパスで教員や友人たちと語らい、学修する日常を取り戻すため、学内における新型コロナウイルス感染予防対策に徹底して取り組み秋学期の授業再開に臨んでいきます。地域の皆さまにおかれましては、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、感染リスクに対する対策として、今年度11月に開催を予定していました学園祭「第5回くにうみ祭」は中止とさせていただきます。

☎同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎ 42-4700

スマートフォンで
防災情報を受け取れます

県・市からの防災情報を受け取る「ひょうご防災ネット」のアプリ版が公開されています。

利用方法

「App Store」または「Google Play」からダウンロード

☎ひょうご防災ネットサポートセンター
✉ support@bosai.net

